

えずつえ	意地が強い	えずめえけえ	ひとえ	えだこ(い参照)	坐女
えずだ	おさまった	えずめつける	叱る	えだっこ	〃
えずだが	いつの頃か	えずめる	〃	えだじえ	いたな
えずだから	石ばかりの川原	えずもかすも(い参照)	何時も何時も	えだな	〃
えずだったか	いつの頃だったか	えずらぐ	(〃)〃	えだすか	いるか(敬語)
えずだりかすだり(い参照)	時を定めず 随時	えずりだま	一厘玉(あめ玉)	えだますか	〃(更に敬語)
えつたりかつたり	〃	えずる	人いやがらせをいう、 いじくる	えだすがる(い参照)	惜しがる
えずだん	穀類二俵	えずれこすれ	どうしてもこうしても	えだそらねえ	居心地が悪い
えずどに	一回に、一度に、一緒に	えそろ	居そろう	えだな	よいだろうな
えずにすえつべえ	終日	えだ	いる、板	えだのすか	おったのですか
えずばり(い参照)	強情者	えだ	よい	えだのすた	床の下
えずばり	あればかり	えだ	自分の家である	えだはだ	いた筈だ
えずばんご(い参照)	一番草	えだえ	おりますよ、おりましたよ	えだふぎ(い参照)	ふき掃除
えずぼどげ	石仏	えだえが	いるだろうか	えだます	惜しい、勿体ない
えずぼね	意地	えだが	いるか	えだみた	〃
えすべん	石ペン	えだぐす(い参照)	痛める、怪我する	えだみつた	〃
えずめ(い参照)	一枚(紙や田等の枚数)	えだけ	いたよ	えだわす	〃

えだわすねえ	惜しい、勿体ない	えでえすか(い参照) 痛みますか(敬語)	
えだます	在宅です、おります	えでえつらす() 痛い思いうる	
えだます	いいでしょう	え、てぐじえ 承知して下さい(敬語)	
えたら	よいといっているのに	えてくねえ 行って下さい ()	
えつきやすて	いい気になって	えてぐじえ ()	
えつくれえ	いい加減、丁度よく、その場逃れ	えでくねえ 居て下さい ()	
えつそうよう	冠婚葬祭用の着物	えでぐじえ ()	
えつちよら	〃	えてでぐじえ 先に行って下さい ()	
えつちよめえ	一人前、人並	えてでくねえ ()	
えつつき	一周忌	えでのめえ 得意とする	
えつつに(い参照) とつくに		えでは もうよい	
えつつも() 〃 () いつも		えでば いいよ、よいといっているのに	
えつてえきた	行ってきた	えてろ 先に行っている	
えつてえくねえ 行って下さい		えど 承知したといっているよ	
えつてえぐじえ	〃	えど(い参照) 糸	
えつてえぐじえ	〃	えど 井戸	
えつてえじえんてえ	一体全体	えどぐ 居間	
えつてえめえりあんす	いって参ります		
えつと(い参照) 一等、一番			
えつとうしよ() 〃 () 一等賞			
えつとしよ() 〃 ()			
えつとき	一時の間		
えつときま(い参照) 一時の間			
えとぎま() 〃 ()			
えつとぎま() 〃 ()			
えとごま() 〃 ()			
えつばだ	わがまま		
えつぺえ(い参照) 沢山、一杯、二合五勺			
えつぺえきげん() 〃 () 一杯きげん			
えつぺえみす() 〃 () 一杯めし			
えてえ() 〃 () 居たい			
えでえ(が)() 〃 () 痛い(か)			
え、でえ	もうよろしい		
えでえかゆ(い参照) いたくてかゆい			

えどご	よいところ	えねえ	いない	えべす	えびす
えどご	裕福な家庭	えねがり	稲刈	えへらめがす	げたげた笑う
えどご(い参照)	親類	えねごき	稲こき	えへる	怒る
えんびき	〃	えのこ(い参照)	淋巴腺のはれ	えほきりむす	かまきり
えどご(い参照)	もとより	えのめえ	家の前	えま・えま	只今参ります、一寸まっ
えども	よいけれども	えのめえのずぐぼ	陰辨慶	えまかだ	先刻
えな	へそのお	えぼ	よければ、えさ	えまずに	後刻
え、な	いいな	えぼこ	えさ	えまに	もう少したつと
えなぐなる	いなくなる	えぼた	いぼった	えまねえごろ	今頃
えねえぐなる	〃	えばな	いばるな	えまはやり	今はやり
えなふりする	よいふりをする	えばる	威張る	えむすこ	養子に対して家で生れた男子
えに(い参照)	犬	えふとぶり	るい人のふり	えむすめ	女子
えぬ	犬	えびる(い参照)	干物等をやく、底意地悪くしたげる	えもの	よいもの、立派なもの
えぬがね(い参照)	動かない	えぶ	いぼ、竹で編んだ塵取	えものほな	じゃがいもの澱粉
えぬぐ	(〃) 動く	えほ	いぼ	えもんだ	よいものだ
えんぬぐ(〃) 〃		えふり(い参照)	田面ならし	えもんだ	〃
えね	稲	えべ	いるだろうな		

えや	いやいや	えろばが	好色漢	おあぐ	大股
えらける	塚をこえて行儀が悪い	えわり	よし、あし	おうあぐ	〃
えらねえ(い参照)	いらぬ	えんが	縁側	おあげえ	召しあがれ
えらねえ(す)	〃	えんがたがり(い参照)	不幸者	おわげえ	〃
えりぎれえ	偏食、人を差別する	えんがり	とがるさま、強そうだ、とげとげしい	おあげえてくだんしえ	〃
えりごめ	やき米	えんだあ	よいんだ	おあげえてくだんしえ	〃
える	居る	えんだあ	〃	おあげえんしえ	〃
える	えらぶ	えんだきあすて	いい気になって	おあげえんしえでば	召しあがれ(無理にすすめる)
えるそらねえ	居心地が悪い	えんだであ	よいのだよ	おあす	銭
えるべ(い参照)	居るだらう、要るだらう	えんだであ	〃	おでえもつ	〃
えれ	えらべ、豆等を鍋でこがす	えんだでば	〃	おわす	〃
えれえもの	偉いもの、大きなもの、立派なもの	えんだな	〃	おいぬ	狼
えれこ	谷間	えんだな	〃	おえの	〃
えれず	互いちがいに	えんなが	〃	おがべ	〃
えろ	色、その場所に止まってる	お	家の中	おう	返事、承知した
えろおどこ(おなご)	好色漢、情夫	お		おうざ	大沢
えろがず	色々の種類	お		おうずり	もらい物に対しマッチ・はがき手拭等の返礼品

おうどご	富有家庭	おがあ	(あ・か参照) 母	おつかねえ	〃
おうほ	みみずく	おがぢや	(〃) (〃) (〃)	おんかねえ	〃
おほう	〃	おがつぢや	(〃) (〃) (〃)	おがねえ	置かない
おほ(と参照)	〃 濁酒	おがはん	(〃) (〃) (〃)	おがま	大釜
おうのげさま	あおのけ	おがげだつたじえ	おかげ様でした	おがみ	政府
おうまぐれえ	大喰	おがげだつたます	(敬語)	おがみ	主婦
おうみず	洪水	おかげる	追いかける、たてかける	おがめ	おかめ、婦人の醜貌をいう(でえどおがめ)
おうや	本家	おっかげる	〃	おがら(き参照)	おから
おや	〃	おがさん	上流家庭の母の呼び名でその家の主婦をあがめる呼び名	おがら	麻糸をとった茎、大便後おがらを使用した
おうゆび	親ゆび	おがす	おかし	おがりからだ	成長期の身体
おえがだ	芝草	おがす	おかし	おがろ	長火鉢
おえしえてくなんしえ	お許し下さい	おがすねえ	〃	おがわ	おまる
おえしえてくねえ	〃	おがず	副食物	おき(け)	大きい
おゆしえてくだんしえ	〃	おがだ(あ参照)	女房、妻	おつき(け)	〃
おゆしえてくねえ	〃	おがだず	かみなり	おぎ	奥
おえる	はえる	おかながる	恐ろしがる	おぎ	薪の火
おが(あ・か参照) 母		おかねえ	恐ろしい	おぎがげ	おきぬけ

おぎりいえ	木の芽などを刺んであえたもの	おつけえつた	倒れた、ころんだ	おさしえる	押させる
おぎる(だ)	ねていた者が立つ、炭火が盛んにもえる	おげえちやわんうがい茶碗	おげえちやわんうがい茶碗	おさへる	〃
おぎれえねえ	おきられない	おげであ	おいてくれ	おさねえ	押さない
おぐ(がねえ、げ)	おく	おごがす(ご参照)	飯のこげ	おさねはぐ	難儀する
おぐれえ	くれ(すえずおぐれえ)	おごぎ(う参照)	五加木	おしいなる	起床する(敬語)
おぐれえてくねえ	下さい(敬語)	おごご(ご参照)	香の物(女房語)	おしいなれえつた	〃(〃)
おけ(て参照)	大きい	おごご	おこせ	おしえ	おそい、押せ
おつけ(〃)	〃	おごご(う参照)	よこせ	おしえぐなる	おそくなる
おげあ	外庭	おごらみ	威敵	おしえぐらご	押しくらぐで遊びの一種
おにや	〃	おごれえ	気品がある	おしえる(だ、ねえ)	捉る(とらう)
おんにや	〃	おごわ	赤飯	おしえる(だ、ねえ、られた)	教える
おげえ	粥	おごん	うこん	おへる	〃
おげえこ	〃	おさ	大沢	おじやぐ	お客
おげえじゆう	御馳走を入れて持ち帰る重箱	おさ	苗を植えた列、一枚の田	おじやぐ	温石
おげえす	お返し	おさがり	お祭り	おしやぐす	客に酒をつぐ
おけえた(す、らねえ、る)	倒れた、ころんだ	おさがり	古着を下げ渡す	おじやすぎ	座敷
おつけえた	〃	おさがり	古着を下げ渡す	おじやもす	うちわ餅

おしやらく [▲] ご	身なりを飾りたがる、その婦人	おず	伯叔父	おずだ	不思議だ
おじやんこ	幼児の正座	おんちや	〃	おすとぎ [▲]	白米や稗の生粉を団子にしたもの
おつんこ	〃	おんちやま	〃 (敬語)	おずどめ	仏前での読経
おじよ	往生、物事の行き詰り	おず	次男以下の男子	おすねぼ	めん類を延ばすのし棒
おしようす	恥かしい	おんず	〃	おすべ	落るだらう、下りよう
おしよす	〃	おずかぶ	〃 (卑称)	おすべり	うすべり、ござ
おじよどす [▲] (う参照) 美しい	〃	おずきれ	〃 (〃)	おずぼ(な)	大麻専用の畑(野菜)
おしよず	精進、仏日に魚肉を食わぬ	おずこ	〃 (子供)	おずり(こ)	釣銭
おじよめ	おじよめ	おすあるぐ	けんかする	おずる(だ)	落る、下る、下車する
おしよる	折る	おずいれ	川の合流地点	おそねえ	供餅
おちよる	〃	おすえだ	白粉	おそべ	口笛
おちよる(ほ参照) 〃	〃	おすいれ	のし板	おそろす	おそろしい
おつべしよる	へし折る	おずげ	汁	おつそろす	〃
おちよれる	折れる	おずげぐさ [▲]	汁の実	おそろす・え	非常によろしい
おす	啞	おすこみ	押込む	おそろすねえ	非常に(大きな意)
おつ	〃	おずさん(あし・し・ず参照) 祖父	祖父	おつそろすねえ	〃
				おだず(し参照)	ふざける

おだずはん	祝儀時帰宅前出口でしいる大盃酒	おつつけ	遠からず	おへこ	最後
おだでる	おだてる	おつつのめす	押しめす	おつぺす	おしこめる
おだのもす	お頼み申す	おつつもり	凡そ、大体	おへす	〃
おだふぐ	御多福	おつもり	〃	おつぼ	大麻専用の畝(一畝以内)
おだや	おたいや	おつつらがす	散らす	おてうつ・おてうつ	乳幼児に手打をさせる動作(参照)
おつかな・おつかな	おそるおそる	おつつらかたり	内密をあばく	おでえ	おいで(子供に対して)
おつかなびつくり	〃	おつば	尾	おでえ・おでえ	〃
おつかながり(る)	臍病者	おつばぐれる	はぐれる	おでえ	大事
おつき	背だか	おぼぐれる	〃	おでえた(ねえ、る、れ)	おいでになった
おつぐ(ほ参照)	追いつく	おつばすぐ	除外する	おでえつた	〃
おつつぐ(〃)〃	〃	おぼすぐ	〃	おでえたすか	おいでになりましたか
おつそろすぐ	非常に	おつばらさつばら	腹一杯	おでえつべ(しそ参照)	最初、初めから
おつたた(ず)	つかれた	おつびる	押しつぷす	おでつと	〃
おつたまげる	大いに驚く	おつびる	〃	おでつぺす	〃
おつちやらげる	押しつける	おつびろげる	ことさらに広げる	おでえもつ	お金
おつちやらぬげる	〃	おつぶす	うち臥す	おでえらに	平らに、楽に、あぐらに
おつつかつ	優劣がなく、辛うじて	おつべこ	最後	おでえりもす	死ぬ、参る(おでんとさまおでりもすた)

おでえる(れ)	いる、くるの敬称	おどごあつば	男まさり	あでえめえ	お前の卑称
おでえれでや	行きましようよ	おどこあねえ	便りが無い、静かで在宅不明	おでゆび	親ゆび
おでえんしえ	おいでなさい	おどごやもめ	寡夫	おゆび	〃
おでえんす	おります	おどこらす	男らしい	おどる(た、らしえ、らぬえ、れ)	踊る
おでばす	来客を接待するに当り、飯、餅、そば等をむりに盛りつける最後の一杯 太陽	おどす(た)	落す、墮胎する	おどろぐ(た)	目がさめる
おでんとさま	〃	おどす	木炭、野菜等を貯蔵する床下に作った囲い、音がする	おなごしえんしえ	女の先生
おど(あ・ち・てと参照)	父、夫、戸主	おどすた	音がした	おなまぐさつげるのしをつける	
おどちや	〃	おどで	一昨日	おなめ	妾
おど	お堂	おどでな	〃	おにかこ	おにごっこ
おんど	〃	おどでなのよま	一昨晚	おにけえこ	〃
おどがす(た)	びっくりさせる、こわがらせる	おどと	弟	おにけえんこ	〃
おどす(た)	〃	とどとす	一昨年	おねえとす(ふ参照)	同年輩
おどげえ	あご	おどな	大人	おねば	飯の糊汁
おどげえる	落雷する	おどまげ	夫のくせやみ	おば(ん参照)	祖母
おどげで	冗談に	おどみまげ	年子の子供の上の方が弱った場合	おばちや	〃
おどげでえねえ	冗談でない、容易でない	おどめえ	お前の卑称	おんばちや	〃
おどげる	冗談する	おどめえたがり	〃	おば(ん参照)	伯叔母

おぼちや	伯母叔(親しみを持つ)	おへえれえ	おはいり(女子の若者、女子同等)	おぼこなす	出産す
おはいえなす	朝の挨拶	おへえれえてくねえ	おはいり下さい(尊称)	おぼすなめえり	産土神参り
おはやがんす	お早うございます	おへえれえれ	(〃〃)	お、ほだ・ほだ	その通りだ
おはご	十八番	おへえれえんしえ	おはいり下さい	おぼでえ	重い
おばしえる	背負わせる	おべずずら	覚えていながら故意に	おましえる	食わせる
おぶ(きる、ばねえ、べ)	負う	おべずら	〃	おまぶり	お守り
おぼ(う)きる、わねえ)	〃	おへずりえ	お世辭をいう	おまる	便器
おほげ	麻をさいて糸にしたのを入れるかご	おべだ(る)	判った、覚えた、背負えた	おまんこ	女陰
おほけ	つむいだ麻糸を入れるかご	おべだふり	覚えたふり	おみぎ	御神酒
おぼき	仏前にそなえる食器	おべたぶり	〃	おみぎすず	御神酒徳利
おぼぎれる	そばなど長時間たつと切れ切れるなる、転じて物が途中で挫折する事	おべでけずがれ	覚えている(喧嘩)	おめす	飯
おぼすな	産土	おべでろ	〃	おむ	思う
おぶへえでえ	背おうから	おべでろ	〃	おむ	つむぐ
おぶべでえ	おんぶしてやろう	おぼき	産着	おめ	思え
おふるめえ	祝儀、お振舞	おほげえ(ほ参照)	盆の法要	おめえ	お前、夫、おめえするが(敬語)、んなやるが(卑語)
おふるめえこ	ままじと	おほけえねえ	子供らしい	おめえさん	あなた(敬語)
おへるめえこ	〃	おほこ	赤ご	おめえはん	あなた(女子同等)

おめえだず	お前達	おら・な	私はよ、私はな
おめしえる	着る(敬語)	おりあんすた	おりました
—おめす	思いする、経験する(や んたおめす)	おれえさま	雷
おめすげえ	思いきり	おれえさまおどげえた	落雷した
おもさま	〃	おれさも	私にも
おめでとがんす	御目でございます	おれ・さ・も・す	私にもどうぞ(女子)
おめでとござんす	〃	おれだば	私であれば
—おめば	経れば、たと	おれぼり	私だけ
—おもと	〃	おれや	おれ、自分
おもさげえねえ	お申訳がない	おろめぐ	あわてる、うるうるする
おもすわけえねえ	〃	おわす(し・せ参照)	銭
おもしえ	重石	おわりがど(わ参照)	ありがとう、お礼の ことば
おもしえ	面白い	おらんど	〃
おもしえな	面白いな	おらえ	私の家
おもすれ	面白い	おらんどこ	私の家
おもしえぐねえ	面白くない	おらほ	〃
おもしえれ	お持ち下さい	おらだ	自分ら、おれども

か

か
川、母、鍛
かが(あ・お参照) 母、妻、おふくろ

かがあ	〃	かう	買う	かかべ	蝶
かがさ	他人の妻	かうえだ	乾いた	かつかべ	〃
かがどの	〃	かえ	勝て、餵え(命令)	かかます	かき廻す
かがもの	〃	かえこ	通帳	かつかます	〃
かがんすう	お母さま(敬称)	かえと	かえって	かちやます	〃
かちや	母	かえつと	〃	かつちやます	〃
かつちや	〃	かおりす	匂う	かぎます	〃
かこ	鰯	かおりする	〃	かます	〃
かっこ	〃	かまりかす	〃	かみます	〃
かあ	あなた	かまりす	匂う	かかまる(ご参照)こまる、しゃがむ	〃
かあ	か(そだすかあ)	かおる	衰弱する	かつかまる	〃
かあばた	川岸	かおれる	〃	かかまる	からみつく、巻く
かあぶず	〃	がが	肴(幼児語)	かつかまる	〃
かばだ	〃	かがさる	書くことができる	かからまる	〃
かわばだ	〃	かがす	案山子	かがみます	鏡餅廻し(年間の世語礼)
かえい	痒い	かがつて	一のために	かがらえる	せめたてられる
かう	勝つ、餵う、ささえる (つばりかう)	かがど	かがと	かがる	攻める、病気になる

かがる	縫いつづる	かぐまぎ	防寒用に女子が用いた角のつぎの毛布にふさぎを対角線で折っていたもの	かんげえる	考える、凍える
かぎ(あ参照)	子供を軽蔑していう	かくらしえる	たたきつける	かげくろ(あ参照)	徒競争
かぎめら(あ参照)	子供ら	かつくらしえる	〃	かげこ	日かげ
かぎじよう	炉の鉤	かぐらん	日射病	かげぶつ	影法師
かく	書く	かぐれかご	かくれんぼ	かげる	欠ける
かく	水を汲み出す、枝等を折る	かぐれかんど	〃	かげる	下げる、つるす、かぶせる、責を移す
かくす	竹木等の切株	かぐれやすみ	登校途中遊んで学校を休む	かげる	凍える
かつくす	〃	かげ	かけら(はかげ、ガラスかげ)	かげろぐ	平均にする、はかりにかける
かつば	〃	かげこ	〃	かこ	桑、かつこう鳥
かぐがな	書こうか	かげらこ	〃	がこ	下駄(幼児語)
かぐがな	水を汲み出そうか	かげ	しな(けえりがげ)たて(こしえがげ)	かつこ	〃
かぐす	隠す	かげえど	体格、かまえ、外型	がつこ	〃
かぐす	ポケット	かかしえ	機糸	かごえずけ	永く保存する漬物
かぐず	台所、家の後	かげえる	〃	かごう	保存する、おういかぶせる
かぐで	勿論、かつて	かげえる	抱える、妊娠する	かごる	かこう
		かげえる	考える、凍える	かころだ	ころんだ(いきみだの意味を含む時もある)

かっころだ	ころんだ(いいきみだの 意味が含む時もある)
かっころばす	つきころばす(強い)
かっころばす	〃 (弱い)
かさ	瘡、梅毒
かさあなやあ	かすから待っていないさい
かすだすな	〃
かさがぎ	かさの出ている子供
かさこ	瘡
かさこ	小皿(木製)
かさつこ	〃
かさこ	小傘
かさこす	踊り終わった後笠を翌年に こす意味で今年最後の終 舞転じて催物後の慰労会 かして下さい
かさしえ	かんざし、盃に酒が満盃 になったので盃を上にあ げること
かざす	はしゃぐ
かざずぐ	〃
がはずぐ	〃
がさめぐ	〃
かさぞれ	笠揃い、踊り初め
かさねえ	かさない
かさねえが	かさないのか
かさばれえ	集団の踊り終り
かさびた	かさぶた
かざまずり	風祭り
かさめぐ	皮膚が乾燥状態になった こと、木の葉等のすれ合 う音
かしえ	食べなさい
かしえ	風、風邪
かじえ	うに
かしえぎしえだぐ	仕事着
かしえぐ	働く
がしえつこあねえ	(あ参照) 頑足ない、子供の抵抗 力の弱いこと
かしえでこじえ	食べさせて 下さい
かじえでみる	勘定してみる
かんじよすてみる	〃
かしえでこじえ	(働いて下さい、 辞去の挨拶)
がんにえねえ(あ参照)	弱々しい(子供)
かじえのさぶろ	(風の三郎 風の化けもの)
かじえふぐ	かぜをひく
かじえる	吹き出物等がかさかさに なつて小さくなる
かすける	〃
かじえる	食わせる
かじえる	数える、仲間に入れる
かんじよす	数える
かじやり	飾り
がじよがじよ	丈夫だ、丈夫そうだ
がんによがんによ	〃
かす	かつうお
かす	火事
がす(さす参照)	もや
かすが	かしてくれるか、かして やろうか
かすか	かじか
かすが	ゆわえる

かすぎ	炊事	かすな	かしてはならぬ	かだつびら	〃
かすぎ	魚行商婦人	がすびど	食物をうるさくねだる人	かだぼぎ	〃
がすぐ(だ)	思いつく	かすぶ	かつおぶし	かたぼら	〃
がすぐ	〃	かすべ	かしてやろう	かたふた	〃
がすくれがぎ	手にあまる子、腕白盛りの子	かすべが	かしてやろうか	かだべら	〃
がすつくれがぎ	〃	かすみ	神社や山伏の御札配り、又その範圍	かだぼ	〃
かすけ	かしこい、利口だ	がすめぐ	すべり具合が悪い	かだつぼ	〃
かすける	ふくれたものが小さくなる様	がすめぐ	せきこんで食べるさま、空腹時あたりかまわずせきこんで食べるさま	かだえぼ	〃
かすげる	傾ける	かすり	穀類を入れて運搬する時に使用する箱	かだえぼ	〃
かすける	かこつける	かすれる	餓える	かだがだす	かたちんばな履物
かすけにす	〃	かせえ	借せ	かだすがだす	〃
かすてくねえ	かして下さい	かへ	〃	かだぎ	恰好
かすてごじえ	〃	かだ	ついでに	かっこ	〃
かすでげ	かついで行け	かだ	片一方、一方の側、片端	かだぎ	食(ふとがだぎ)一食した(だだぎ)二食)
かすんでげ	〃	かだこび	〃	かたぎる	刈りむしる
かすてだ	かしていた	かだした	〃	かたぎる	〃
かすてら	かしている、菓子	かだつばら	〃	かだぎわる	恰好不良、衰弱している